

■温室効果ガス削減の目標

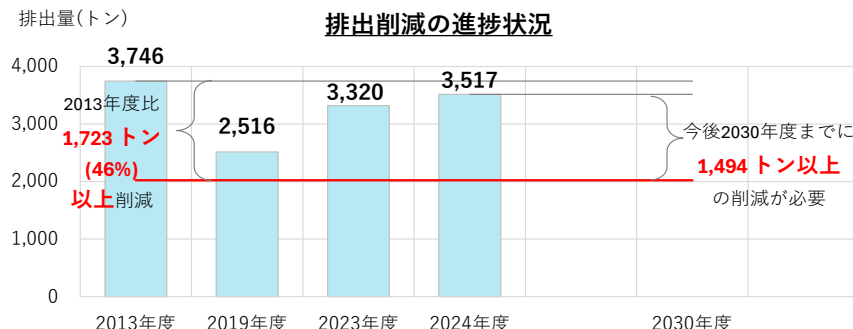
	削減目標 (政府目標値)
2030年度	2013年度比 46% (1,723トン) 以上
2050年度	カーボンニュートラル

■温室効果ガス排出量の推移

北九州空港の2024年度の温室効果ガス排出量は、2023年度比196トン増加の3,517トンである。2030年度の削減目標 (2013年度比46%以上の削減) の達成には、今後1,494トンの削減が必要である。

	温室効果ガス排出量(トン)			
	2013年度	2019年度	2023年度	2024年度
空港施設	3,498	2,244	2,984	3,140
空港車両	248	272	337	377
計	3,746	2,516	3,320	3,517

※小数点以下の端数処理により合計値が整合しないことがある



主に契約されている電力会社の排出係数…2019年度：0.347、2023年度：0.475、2024年度：0.417
 空港全体の商用電力使用量(kWh) …2019年度：606.7万、2023年度：614.4万、2024年度：736.6万

■2020年度～2024年度の温室効果ガス排出量の増減背景

北九州空港では、2020～2024年度にかけて、上屋施設の整備 (2022年度、2023年度) や商用電力使用量の増加、主に契約されている電力会社の排出係数上昇 (2019年度比) を主な背景として、温室効果ガス排出量が増加傾向にある。この間、空港の利用 (航空機運航回数や旅客数) はコロナ前の水準以下に留まっている。

■2020年度～2024年度の脱炭素化施策の取組状況

空港施設に係る取組	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 建築施設照明のLED化や省エネルギー運用等、空調の高効率熱源の導入、空調・換気の省エネルギー運用等の取組が行われた。 ➢ 航空灯火のLED化の取組が行われた。
空港車両に係る取組	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 電動車の導入が行われた。
再エネ導入促進に係る取組	(当該期間に新たに実施した取組に関する情報なし)
その他の取組	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 再エネ由来燃料による空港アクセスバスの実証運行が行われた。 ➢ CO2フリー電力が利用された。